

9

ある中学校の野球部に所属している一郎さんと守さんは、次の大会で対戦する相手チームのA投手が投げる球の速さの傾向について、調べています。一郎さんは、前回対戦したときのA投手が投げた106球のそれぞれの速さの記録をもとに、下のような表にまとめました。

このとき、次の(1)，(2)の各問いに答えなさい。

一郎さんが作った表

	平均値	中央値	さいひんち 最頻値	最大値	最小値
球の速さ (km/h)	115	118	122	128	90

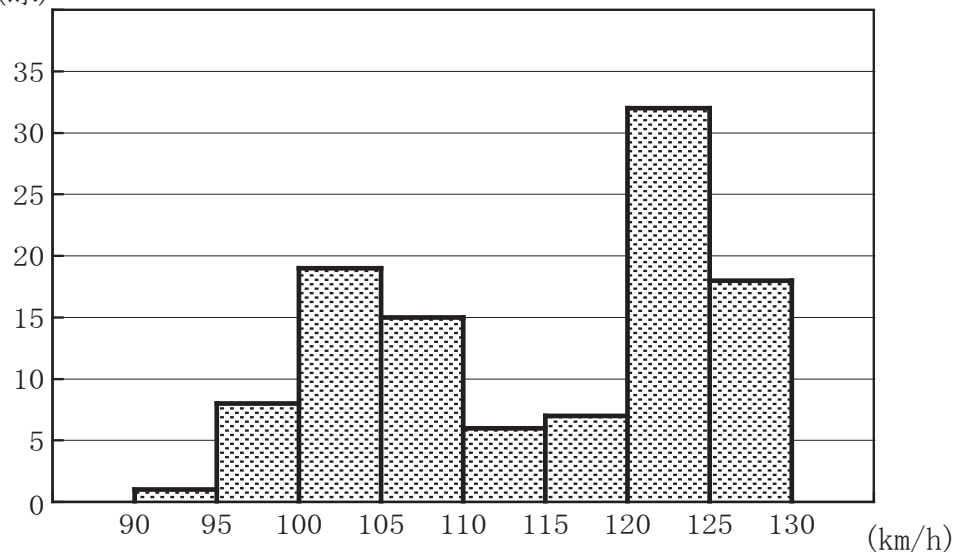
- (1) 一郎さんが作った表から、A投手が投げた球の速さについて、正しく述べているものを、下のアからエまでのの中から1つ選びなさい。

- ア A投手が投げた106球のうち、53球は115km/h以下である。
 イ A投手が投げた106球のうち、118km/hの速さの球が一番多い。
 ウ A投手が投げた106球のうち、最も遅い球は、128km/hである。
 エ A投手が投げた球の速さの分布の範囲は、38km/hである。

- (2) 守さんは、A投手が投げた球の速さの分布の様子を、次のようなヒストグラムにまとめました。守さんが作ったヒストグラムでは、例えば、球の速さが105km/h以上110km/h未満の投球が、15球あったことを表しています。

守さんが作ったヒストグラム

(球)



2人は、一郎さんが作った表と守さんが作ったヒストグラムを見ながら、A投手が投げた球の速さの傾向について、話し合っています。

一郎さん「A投手が投げた球の速さの平均値は115 km/h だから、他の速さの球に比べて、115 km/h の速さの球を多く投げる傾向があると言えそうだね。」

守さん 「でも、ヒストグラムを見ると、115 km/h の速さの球を多く投げる傾向にあるとは言えないのではないかな。」

守さんが作ったヒストグラムを見ると、一郎さんのように「A投手が投げた球の速さの平均値は115 km/h だから、他の速さの球に比べて、115 km/h の速さの球を多く投げる傾向があると言えそうだ」という考えは適切ではないことが分かります。その理由を、守さんが作ったヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。